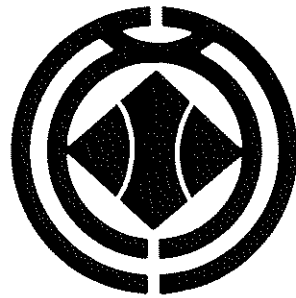


平成19年度
予算説明書

町民こそ町づくりの主人公

「自立した町づくり」

を目指して



町の花：セツブンソウ



町の木：モミジ



町の鳥：ウグイス

小 鹿 野 町

は じ め に

本町は、一昨年の10月1日に新小鹿野町として誕生以来、町民の皆様からの格別なご支援とご協力のもと、1年半を経過いたしました。

今日の経済情勢は、一時の厳しい状況から多少なりとも回復の兆しにあるとされていますが、本町においてはその実感がまだまだ湧いてこないのが現状であります。町ではこうした状況のもと、今後も町民の皆様のご協力をいただきながら、さらなる行財政改革などを通じ「自立した町づくり」に取り組んでまいります。

さて、このたび町では、平成19年度の予算説明書を作成しました。

この予算説明書は、昨年に引き続き町の予算をできるだけわかりやすい言葉を使って説明し、町民の皆様にその内容を具体的にお知らせすることを目的としています。

本書では、「新町建設計画」の5つの基本目標に沿って、今年度の主要な事業について説明しています。

行政用語を出来るだけ避け、日常の言葉を使うようにしましたので、「町予算書」とは事業名などが一致しないものもあります。事業の中には国・県の補助金をいただいて成り立っているものもありますので、実際に町が負担する金額がわかるようにしました。また、事業費の小さいものや団体負担金など直接町民の皆様と関係が薄いものは記載しませんでした。逆に、予算額が小さくとも生活に関わるものや知っていただきたいものは記載しました。

本書により、町民の皆様が自分たちの将来を考える上で、町の課題や疑問を発見し、論議するための一助としてご活用いただければ幸いに存じます。

平成19年5月

小鹿野町長 関 口 和 夫

目 次

は じ め に

平成19年度 予算編成の基本方針と予算規模について	1
I 魅力あふれる居住環境づくり	2
II 共に支え合い健康で暮らせる福祉社会づくり	5
III ふるさとの明日を担う心豊かな人づくり	9
IV ふるさとを支える産業づくり	11
V 住民と行政が共に手を携えたふるさとづくり	15

資料編

1 町の予算はどのように推移しているのか?	17
2 収入の内容はどのようなになっているのか?	18
3 予算配分はどのようなになっているのか?	19
4 町税の収入はどうなっているのか?	20
5 町の地方交付税はどのように推移しているのか?	21
6 町の借金(町債)はどのくらいあるのか?	22
7 町の預金(基金)はどのくらいあるのか?	23

平成19年度 予算編成の基本方針と予算規模について

●予算編成の基本方針

平成19年度は、平成18年度の旧2町村の合併前からの引継ぎや諸般の体制を整える段階から、これらを踏まえた新たな段階に踏み出す年度となります。

昨年度、改革の第一歩として取り上げた教育改革、病院経営改革、職員の意識改革をはじめとした行財政改革を更に進め、厳しい財政状況の中にあっても、「町民こそ町づくりの主人公」との基本理念のもと「自立した町づくり」、「町民に開かれた町づくり」に向かって、自ら考え知恵を絞り、限られた財源をこれからの町づくりのために、効果的に投資してまいります。

また、合併後1年を経過したこれまでの事業の実施状況、成果、反省点等を踏まえた上で、施設の管理運営状況等も考慮する中で、必要性、緊急性等の観点から更なる見直しを行い、新しい町づくりのための必要な予算の配分に努めたところであります。

●予算規模

小鹿野町予算の総額は120億3,384万1千円で、前年の当初予算額に比べ2億6,158万3千円の増加（2.2%の増加）となりました。一般会計予算の増加した主な理由は、町営住宅建設事業や移動通信用鉄塔施設整備事業などの大きな事業の増加によるものです。

今年度の予算編成の中で、一般会計では1億5,200万円の財源不足が生じましたが、この不足額は各種基金（貯金）の取り崩しでまかなっております。今後はこの財源不足が解消できるよう、なお一層の行財政改革に取り組む一方で、自立しうる町づくりに向かっての積極的な事業の展開、収入の確保にも力を入れて、予算編成に取り組んでまいります。

会 計 名	予 算 額	対 前 年 比
一 般 会 計	58億7,100万円	4.5%
国民健康保険特別会計	14億3,413万9,000円	8.5%
老人保健特別会計	12億4,992万1,000円	1.3%
介護保険特別会計	11億5,267万6,000円	2.2%
簡易水道事業特別会計	0円	△100.0%
浄化槽設置管理等特別会計	1億5,832万5,000円	△19.4%
病院事業会計	14億4,387万1,000円	△5.3%
水道事業会計	4億2,558万8,000円	18.7%
国民宿舎事業会計	2億9,832万1,000円	1.2%
合 計	120億3,384万1,000円	2.2%

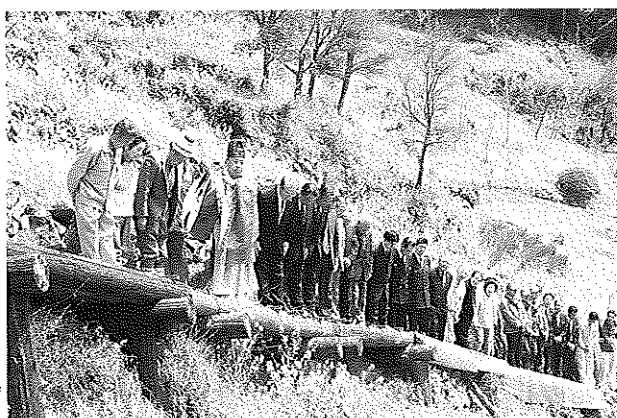
（※注 簡易水道事業特別会計は水道事業会計に統合されました。）

（※注 前年対比欄の△は減少）

I 魅力あふれる居住環境づくり

「魅力あふれる居住環境づくり」については、本町の豊かな自然との調和を図りながら、快適で安全な町づくりを目指し、安心して住み続けられる環境の整備に向けて事業を行ってまいります。

両神山開山式



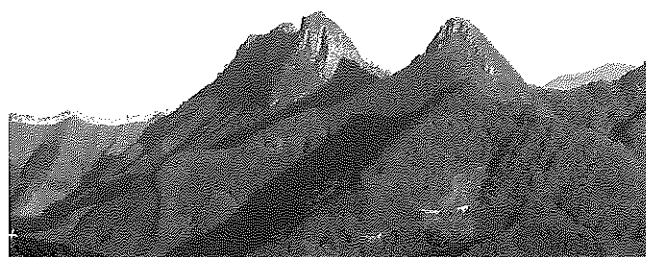
町の豊かな自然を将来にわたり維持・保全していくため、自然公園維持管理事業をはじめ、引き続き水道管の改修、合併処理浄化槽の普及を進めるほか、長年生活用水にも不便をきたしておりました両神出原地区に生活環境整備事業として受水槽を設置し、住環境の改善を図ります。

また、情報通信基盤の整備促進として、携帯電話の利用可能エリアの拡大のため、**移動通信用鉄塔を倉尾、両神地内に整備**いたします。

さらに、若い人達の定住化や住環境の整備を一層進めるため、平成20年度完成の**町営住宅の建設**に今年度から着手いたします。また、町民の皆さんからも要望のありました**住宅リフォーム**の際の負担を少しでも軽減するための助成事業を新たに実施いたします。

町民の生活や経済活動の動脈でもある国県道等の幹線道路については、その整備促進を関係機関に積極的に要望していくとともに、町道については、町民の皆さんからの身近な生活道の改修要望等にも迅速に対応できるよう必要な予算を計上いたしております。また、合併特例事業として町の基幹道路である**市街地南北道路（町立病院から299号バイパス間）**や**両神8号線（小沢口から黒海土バイパス間）**の早期整備に向けた道路改良工事を実施いたします。

主 な 事 業	事 業 費
自然公園維持管理費	2,523 万円
移動通信用鉄塔整備費	1 億 5,354 万円
森のいやし効果促進事業	328 万円
衛生センター費(し尿処理費)	1 億 4,805 万円
町営住宅建設費	1 億 8,135 万円
町営住宅管理費	3,222 万円
都市計画推進費	699 万円
定住促進対策費	276 万円
住宅リフォーム助成費	509 万円
常備消防費(広域組合負担金)	2 億 4,655 万円
非常備消防費	7,479 万円
生活環境整備費	439 万円
防火水槽新設費（1基分）	320 万円
消防積載車購入（5-6分団）	560 万円
防災費（防災無線関係）	562 万円
町営バス運行費	6,842 万円
過疎バス対策費(西武バス運行補助費)	1,964 万円
道路新設改良費	2 億 1,433 万円
河川改修費(長又、長留地内)	1,350 万円
地籍調査事業費	1,697 万円



二子山

※補足説明（財源欄のない事業は全額町のお金でまかなうことを意味します。）

町営住宅管理費 3,222万円

（担当：建設課）

町営住宅の修繕や施設管理に必要な経費です。今年度は火災警報器の設置費用も見込んでいます。

火災警報器（イメージ写真）



主な経費

修繕のための費用	978万円
管理事務費	347万円
用地借上費	1,897万円

財 源

家賃収入	3,122万円
火災共済機構助成金	100万円

住宅リフォーム助成費 509万円

（担当：まちづくり課）

町内居住者が町の大工さん等により住宅等のリフォームを行った場合に1件あたり5万円の助成金を支給いたします。

主な経費

助成金（100件分）	500万円
事務費	9万円

町営住宅建設費 1億8,135万円

（担当：建設課）

旧小鹿野保育所の隣接地に19年度から2ヵ年で建設することとし、今年度建設工事にとりかかります。

平成13年度建設の北扶桑ヶ原団地



主な経費

建築確認等の費用	4万円
工事費	1億8,100万円
設計等の費用	31万円

財 源

国からの交付金	7,484万円
小鹿野町のお金	1億651万円
（うち借金〔町債〕	9,140万円）

生活環境整備費 439万円

（担当：環境防災課）

生活用水にも不便をきたしておりました両神出原地区に生活環境整備事業として受水槽を設置します。

主な経費

受水槽設置工事費	439万円
----------	-------

I 魅力あふれる居住環境づくり

非常備消防費 7,479万円

(担当：環境防災課)

自治消防の運営に必要な経費で、今年度は団員の夏服の新調等を行います。

主な経費

団員報酬	2,058万円
活動服等購入費	757万円
共済組合へ負担する費用	3,175万円
その他運営費等	1,489万円

財源

国からの補助金	520万円
共済組合が負担するお金	1,800万円
小鹿野町のお金	5,159万円

移動通信用鉄塔整備費 1億5,354万円

(担当：まちづくり課)

情報通信基盤の整備促進として、携帯電話の利用可能エリアの拡大のため、移動通信用鉄塔を倉尾、両神地内に整備いたします。

主な経費

測量設計等を行う費用	1,940万円
工事費	1億3,180万円
用地・補償費	232万円
事務費	2万円

財源

埼玉県の補助金	1,000万円
通信事業者の負担金	7,275万円
小鹿野町のお金	7,079万円
(うち借金〔町債〕)	6,470万円

町営バス運行費 6,842万円

(担当：建設課)

新町になり、現在5路線の運行を行っていますが、より使いやすい交通機関となるよう、検討を続けていきます。

主な経費

運転手の人件費	3,346万円
運行を依頼する費用	2,283万円
燃料費等その他の経費	1,213万円

財源

埼玉県の補助金	1,750万円
運賃収入	1,346万円
小鹿野町のお金	3,746万円

道路新設改良費 2億1,433万円

(担当：建設課)

市街地の南北道路をはじめ、今年度は国の合併補助金等も活用し、身近な生活道の整備も積極的に進めます。

主な経費

工事費	6,320万円
測量設計費	1,710万円
用地・補償費	1億3,250万円
事務費等	153万円

財源

国からの補助金	1億2,610万円
小鹿野町のお金	8,823万円
(うち借金〔町債〕)	8,090万円

Ⅱ 共に支え合い健康で暮らせる福祉社会づくり

「共に支え合い健康で暮らせる福祉社会づくり」については、少子高齢化が進む中、子どもから高齢者までのすべての住民が健康で、いきいきと暮らし、多様な活動に参加できる福祉社会づくりが求められています。



新築された保育所



子育て支援センター

町では、これまでの町立病院と保健福祉センターを中心とした地域包括ケアシステムの更なる充実を図るとともに、デイサービスセンターなど各福祉施設を活用し、住民が健康で互いに助け合い、支え合う地域社会を形成し、誰もが安心して暮らせる町づくりを進めていきます。なお、今年度は現行の老人保健医療事務が平成20年度から県内広域事務へ移行されるに伴い、その移行経費を後期高齢者医療事業費として計上いたしました。

また、子育て支援の拠点施設となる小鹿野幼稚園と小鹿野保育所では、幼保一体化に向け整備を進めてきましたが、本年度は新たに小鹿野保育所において0才からの低年齢児の受け入れを開始するとともに、子育て支援センターを併設し、若い保護者の皆さんが安心して子育てができる環境整備に努めてまいります。

さらに、今後の国際化に対応できる英語教育の充実を図るため、指導助手の保育所への派遣のための予算を新たに計上いたしました。

国民健康保険特別会計につきましては、急速な高齢化の進展・制度改正等により、国保財政の運営は引き続き厳しい状況が続いておりますが、今後の国保財政の適正かつ安定的な事業運営のための諸事業をはじめ、積極的な疾病予防を行うための予算を計上いたしました。

病院事業会計につきましては、保健・医療・福祉の中核施設として複雑・多様化する医療環境の中にあって、良質な医療の提供に努めてまいります。経営環境は引き続き厳しいものがありますが、運営改善委員会の答申等も踏まえ、引き続き経営改善に努めてまいります。特に本年度は経費の圧縮に努める一方で、新たに心療内科、神経科を開設することとして、診療科目の充実に努めたところであります。

Ⅱ共に支え合い健康で暮らせる福祉社会づくり

老人保健特別会計は、急速な高齢化の進行や生活習慣病患者の増加に伴い、今後も増加が見込

まれる老人医療費の動向を注視しながら、予算を計上いたしました。

介護保険特別会計は、前年度の保険給付見込額に対し一定の伸びを見込むとともに、介護報酬や地域支援事業などの予算を計上いたしました。

主 な 事 業	事 業 費
障害者福祉費	2 億 4, 959 万円
老人福祉費	4 億 2, 202 万円
児童福祉費	4 億 4, 691 万円
国保特別会計繰出金	1 億 2, 046 万円
病院事業会計繰出金	1 億 6, 232 万円

保 育 料 徴 収 基 準 額 表 (単位:円)				
各月初日の入所児童の属する世帯階層区分				徴収金基準額 (月額)
階層	区分	定 義	3歳未満児	3歳以上児
第1	A	生活保護法による被保護世帯	0	0
第2	B	第1階層及び第4～第7	4, 800	3, 800
第3	C 1	階層を除き、前年度分の町民税課税世帯でその	6, 700	4, 600
	C 2	額が次の区分に該当する世帯	7, 400	5, 200
第4	D 1	第1階層を除き前年分の所得税課税世帯でその額が次の区分に該当する世帯	17, 000 円未満	9, 200
	D 2		17, 000 円以上 64, 000 円未満	16, 500
第5	D 3		64, 000 円以上 120, 000 円未満	23, 000
	D 4		120, 000 円以上 160, 000 円未満	27, 500
第6	D 5		160, 000 円以上 240, 000 円未満	35, 000
	D 6		240, 000 円以上 408, 000 円未満	39, 500
第7	D 7		408, 000 円以上	43, 900

※詳しくは、住民課（電話 7 5 - 4 1 0 2）まで、お問い合わせください。

※補足説明（財源欄のない事業は全額町のお金でまかなうことを意味します。）

保育所の運営費 2億9,246万円

（担当：住民課）

町立保育所の運営費をはじめ、民間や他市町村保育所へ入所している関係費用です。なお、今年度は小鹿野保育所において0歳からの低年齢児の受入れを開始します。

主な経費

保育所の運営費	7,773万円
給食費	1,399万円
民間・他市町村保育所へ入所している児童に対し町が負担するお金	1億1,357万円
学童保育の運営費	1,201万円
職員給与費等	7,516万円

財源

国が負担するお金	3,962万円
埼玉県が負担するお金	2,310万円
保育料	3,848万円
給食費実費受入金	159万円
他市町村が負担するお金	44万円
小鹿野町のお金	1億8,923万円
（うち借金〔町債〕）	470万円

子育て支援センターの運営費 500万円

（担当：住民課）

子育て家庭に対する育児支援として新保育所に併設された子育て支援センターでは、相談指導や子育てサークル等への支援などを行います。

主な経費

センターの運営費	500万円
----------	-------

財源

埼玉県の補助金	333万円
小鹿野町のお金	167万円

出産褒賞金の支給 259万円

（担当：住民課）

子育て支援策の一環として、褒賞金を支給します。

主な経費

出産褒賞金	259万円
-------	-------

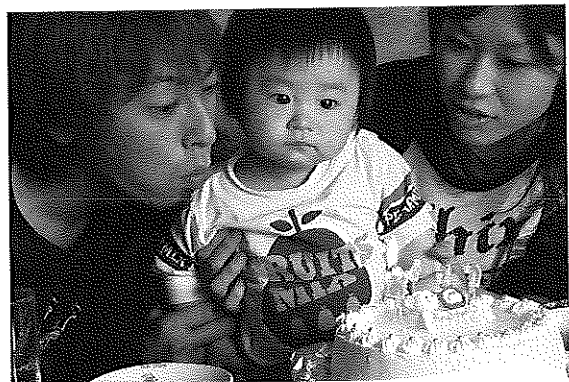
●支給額●

・第1子	1万円
・第2子	3万円
・第3子以降	5万円

児童手当の支給 9,192万円

（担当：住民課）

小学校修了するまでのお子さんを養育する人に、手当を支給します。19年度からは3歳未満児に対する支給額が拡大されます。



主な経費

児童手当	9,192万円
------	---------

●支給額●

・第1子・第2子	月額5千円
（但し、3歳未満児については1万円）	
・第3子以降	月額1万円

財源

国が負担するお金	3,720万円
埼玉県が負担するお金	2,736万円
小鹿野町のお金	2,736万円

Ⅱ 共に支え合い健康で暮らせる福祉社会づくり

障害者福祉費 2億4,959万円

(担当：保健福祉課) [一般会計分]

次のような事業を行っています。詳しくは保健福祉課までお問い合わせください。

- ・ 障害者自立支援事業(施設訓練等支援費)
- ・ 重度心身障害者及び介護者援護事業(援護費の支給)
- ・ 日常生活用具給付貸与事業
- ・ 酸素濃縮装置電気料金補助
- ・ 在宅重度心身障害者手当の支給
- ・ 地域デイケア事業(民間障害者作業施設への運営費補助)
- ・ 生活サポート事業(一時的に介護できない場合の介護、通院送迎等)

財 源

国が負担するお金	8,685万円
埼玉県が負担するお金	7,504万円
小鹿野町のお金	8,770万円



日本の滝百選「丸神の滝」

老人福祉費 4億2,202万円

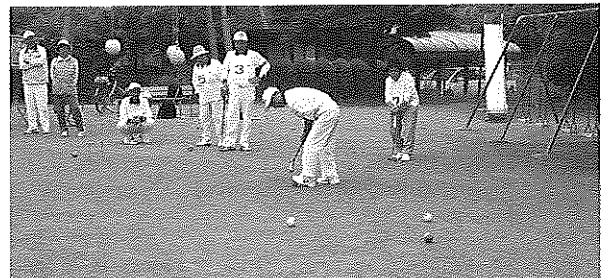
(担当：保健福祉課) [一般会計分]

次のような事業を行っています。詳しくは保健福祉課までお問い合わせください。

- ・ ねたきり老人手当支給事業
- ・ ねたきり老人布団乾燥事業
- ・ 生活用具給付事業(緊急通報機器の設置)
- ・ 敬老祝い金支給事業
- ・ 老人クラブ活動費補助
- ・ 敬老会の開催
- ・ 特別養護老人ホーム補助
- ・ 高齢者事業団運営費補助
- ・ 低所得者介護サービス等利用料補助
- ・ 委託料(軽度生活支援サービス、秩父荘管理運営等)
- ・ 各施設の管理運営費(訪問看護ステーション・長寿ハウス・倉尾けんこう館・両神高齢者福祉センターの運営)
- ・ 老人保健特別会計への繰出金(老人医療費)
- ・ 介護保険特別会計への繰出金(介護給付費)

財 源

国の補助金	766万円
埼玉県の補助金	70万円
利用者が負担するお金	735万円
他市町村が負担するお金(老人ホーム分)	5,528万円
その他(施設貸付料等)	543万円
小鹿野町のお金	3億4,560万円



Ⅲ ふるさとの明日を担う心豊かな人づくり

小鹿神社の春まつり



「ふるさとの明日を担う心豊かな人づくり」については、昨今の教育を取り巻く環境が大きく変化している状況にあって、家庭・学校・地域が一体となり、心身ともに調和のとれた人間形成と優れた人材育成を図るためにも環境整備を図っていくことが求められております。

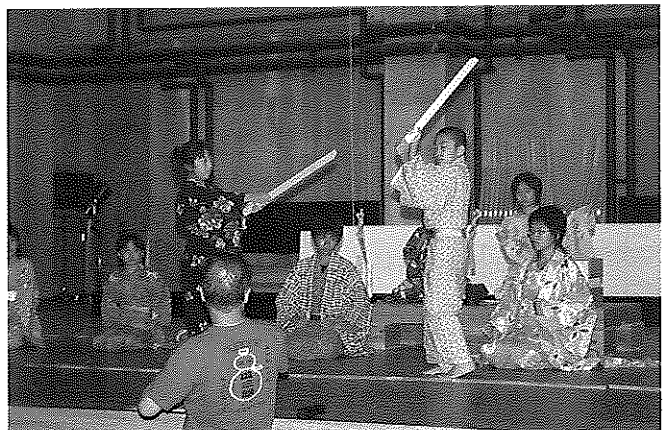
こうしたことから町では、引き続き町民教育会議において町民の皆さんにも参加いただく中で、さらなる教育環境の整備、改革に取り組んでまいります。

教育の現場において、生徒の多様な心の問題に対応できるよう、新たに**フレンドリー相談員配置事業**を実施するほか、施設面においては、懸案でありました**小中学校の耐震診断**を全校で実施いたします。

地域文化の振興については、歌舞伎のまちづくり事業を実施し、歌舞伎の町にふさわしい町づくりを更に進めていくとともに、今年度は地域文化の交流事業として、新たに**川口市の少年少女ミュージカル団と子ども歌舞伎の共演**も予定いたしました。

指定文化財の維持管理については、**腰の根笠鉾の車輪新調**に対する補助を実施いたします。また、社会体育の分野では、平成20年8月に開催される全国高校総合体育大会の準備経費や近年人気のある**フットサルの振興**に要する経費を計上したほか、**NHKのラジオ体操**の招致開催を予定いたしております。

主 な 事 業	事 業 費
小中学校英語指導助手派遣	756 万円
町民教育会議運営費	61 万円
学校教育施設の改修	3,622 万円
小中学校耐震診断事業	5,150 万円
スクールバス運行費	662 万円
児童、生徒遠距離通学費	357 万円
生徒派遣費	340 万円
部活動育成事業費	59 万円
幼稚園バス運行費	1,475 万円
町民劇場開催費	145 万円
各種講座開催費	87 万円
図書館管理費	530 万円
体育指導委員会事務費	167 万円
ロードレース大会開催費	248 万円
体育協会補助金	254 万円
スポーツ少年団補助金	76 万円
体育施設費(総合運動公園等の管理費)	2,373 万円
文化センター維持管理費	1,732 万円
ラジオ体操開催費	15 万円
文化活動交流費	33 万円
指定文化財管理事業	638 万円
文化財資料整備事業	401 万円
歌舞伎のまちづくり事業	436 万円



子ども歌舞伎の練習

Ⅲふるさとの明日を担う心豊かな人づくり

※補足説明（財源欄のない事業は全額町のお金でまかなうことを意味します。）

小中学校耐震診断事業 5,150万円

（担当：学校教育課）

小中学校の校舎、体育館等の耐震診断を実施します。

主な経費

耐震診断、補強設計の委託費 5, 150万円

財 源	
国からの補助金	5, 000万円
小鹿野町のお金	150万円

学校教育施設の改修 3,622万円

（担当：学校教育課）

改修が必要となった施設の改修を順次進めます。

主な経費

鹿小管理棟改修	1, 060万円
両小職員室空調交換改修	73万円
鹿中職員室空調設置	86万円
三小プール防水シート張替	536万円
三田川幼稚園バス購入	404万円
その他の修繕費等	1, 463万円

財 源	
国からの補助金	950万円
小鹿野町のお金	2, 672万円
（うち借金〔町債〕	700万円）

歌舞伎のまちづくり事業 436万円

（担当：社会教育課）

春祭りや郷土芸能祭における歌舞伎上演や歌舞伎の確実な伝承のための後継者育成事業などを行います。

主な経費

出演者、指導者等への謝礼	88万円
郷土芸能祭舞台技術等委託費	39万円
歌舞伎かつら購入	80万円
歌舞伎伝承活動補助金	113万円
事務費等	116万円

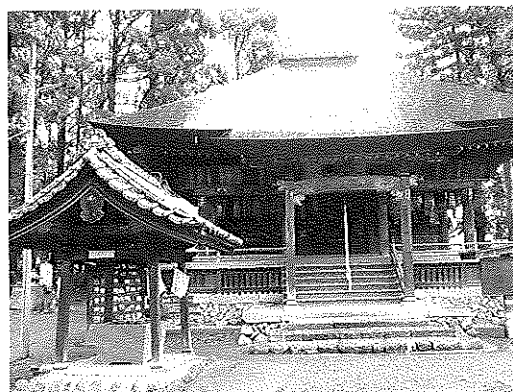
指定文化財管理事業 638万円

（担当：社会教育課）

町内に134件ある指定文化財の保存、管理を行います。今年度は腰の根笠鉾の車輪新調に対する助成等も行います。

主な経費

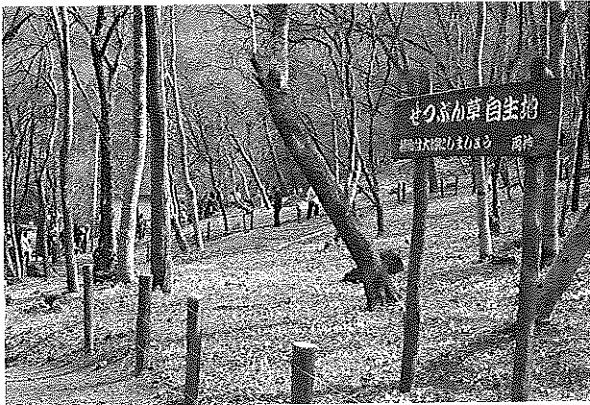
新原笠鉾修理記録書の刊行費	75万円
笠鉾ほか3件の文化財管理補助金	340万円
管理謝礼、図書費等	223万円



法養寺薬師堂

IV ふるさとを支える産業づくり

「ふるさとを支える産業づくり」については、地域の特性を活かした農林業の振興を図るため、基盤施設の整備を進めます。



セツブンソウ園

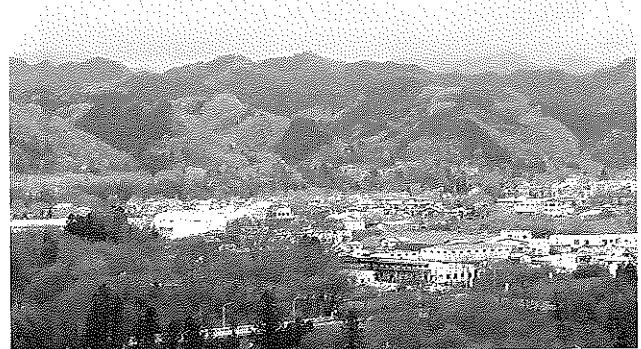
主 な 事 業	事 業 費
中心市街地活性化基本計画策定費	114 万円
オートバイによるまちおこし事業	221 万円
特産品振興費	87 万円
枝折り技術伝承費	50 万円
かんがい排水路整備(長留地内)	1,002 万円
小鹿野用水改修事業	2,100 万円
三島地区ほ場整備事業	978 万円
山村生活安全対策事業(治山)	1,401 万円
林道開設、舗装事業	4,481 万円
中小企業資金等利子補給金	405 万円
商工観光関係団体補助金	1,585 万円
街並み修景整備事業補助金	200 万円
工業導入対策費	50 万円
観光ポスター作成費	414 万円
セツブンソウ園整備費	5,116 万円
ミューズパーク関連施設(サウ リングセンター・スカイトレイン)運営費	987 万円
資源活用センター運営費	2,270 万円
両神温泉館運営費	7,779 万円
両神農林産物直売所運営費	933 万円
長尾根直売所運営費	410 万円

森林管理道開設事業として沼里坂戸線の開設工
事、山村生活安全対策事業として両神薄地内ほか
2地区の治水工事を実施するのをはじめ小鹿野用
水の改修や三島地区のほ場整備を進めます。

商工業分野では、市街地の活性化対策の基本と
なる中心市街地活性化基本計画を策定するほか、
年々オートバイによる来町者が増加している現状
を活用し、オートバイによるまちおこし事業を立
ち上げ、その第一歩として専用駐輪場を整備し
ます。

観光分野では、これまでも両神地域を中心に恵ま
れた自然環境を活かし、花などを活用した観光イベ
ント等を実施してきましたが、今後もその有効活
用、充実を図っていくことが新町のこれからにとっ
ても大切です。両神小森地内のセツブンソウ園に
は、全国でも珍しい自生の群生地として毎年多くの
観光客においでいただいていることから、今年度は
その周辺環境の更なる充実を図るため駐車場等の
整備を行います。なお、長い歴史のあるふるさとま
つりも引き続き実施いたします。

また、既存の温泉施設、農林産物直売所、資源活
用センターについては、更なる充実に向けて取り組
んでまいります。経営状況の厳しい鳳鳴館につ
きましては、今後の活用策を検討することとし、当面
は営業を休止することといたしました。



泉田工業導入地区方面を望む

Ⅳふるさとを支える産業づくり

※補足説明（財源欄のない事業は全額町のお金でまかなうことを意味します。）

中心市街地活性化基本計画策定費 114万円

（担当：まちづくり課）

市街地活性化対策として、まずその基本となる市街地活性化基本計画を町民の皆さんの意向調査等を実施しながら策定いたします。



主な経費

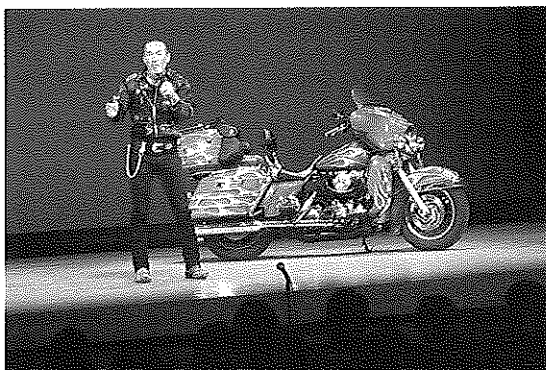
基本計画書の印刷費	100万円
事務調査費等	14万円

オートバイによるまちおこし事業 221万円

（担当：まちづくり課）

年々オートバイによる来町者が増加している現状を活用し、オートバイによるまちおこし事業を立ち上げます。今年度はその第一歩として専用駐輪場やベンチなどを設置する予定です。

昨年度の講演会



主な経費

駐輪場、ベンチ等設置費	100万円
講師謝礼等講演会開催費	81万円
消耗品等事務費	40万円

かんがい排水路整備費 1,002万円

（担当：産業観光課）

昨年度から始めた長留ヨシシマ地区の排水路整備工事を今年度も実施します。

主な経費

設計を行う費用	150万円
工事費	850万円
事務費	2万円

財源

埼玉県の補助金	330万円
小鹿野町のお金	672万円
（うち借金〔町債〕	500万円）

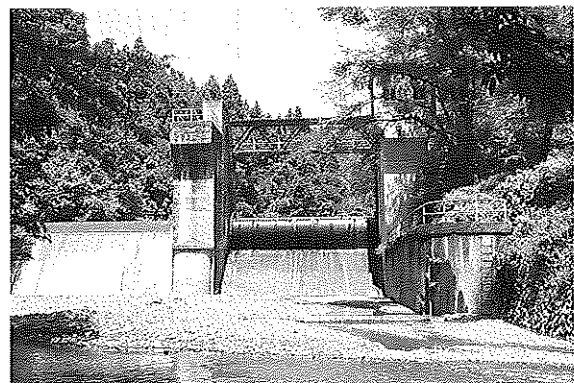
小鹿野用水改修事業 2,100万円

（担当：産業観光課）

農業用水の要である小鹿野用水本線の改修を県事業として進めます。今年度は田ノ頭の頭首工を中心に実施します。県事業として進めてきた小鹿野用水の改修事業は今年度が最終年度となります。

主な経費

県事業へ負担するお金	2,100万円
------------	---------



田ノ頭の頭首工

三島地区ほ場整備事業 978万円

(担当：産業観光課)

地域より要望のあった三島地区農地のほ場整備を昨年度に引き続き県事業として実施いたします。

主な経費

県事業へ負担するお金	975万円
事務費	3万円

財 源

地権者分担金	630万円
小鹿野町のお金	348万円

山村生活安全対策事業 1,401万円

(担当：産業観光課)

今年度は、両神加明地、両神大胡桃、長久保井戸沢の3地区の人家に近い箇所護岸工事等を実施します。

主な経費

工事、設計費	1,299万円
修繕、事務費等	102万円

財 源

埼玉県の補助金	650万円
小鹿野町のお金	751万円
(うち借金〔町債〕)	650万円

整備が進む護岸工事



林道開設、舗装事業 4,481万円

(担当：産業観光課)

沼里坂戸線の開設、県営林道の開設、津谷木柿の久保線の舗装工事等を実施いたします。

主な経費

林道開設事業	3,395万円
林道舗装事業	1,086万円

財 源

埼玉県の補助金	1,759万円
小鹿野町のお金	2,722万円
(うち借金〔町債〕)	1,780万円

商工観光関係団体への補助 1,585万円

(担当：産業観光課)

町の商工、観光の一躍を担っていただいている西秩父商工会や観光協会等の団体に対し、その活動運営経費の一部を補助します。

主な経費

西秩父商工会への補助	600万円
観光協会への補助	220万円
バンビサービス協同組合への補助	71万円
ふるさとまつり実行委員会への補助	600万円
七夕まつり実行委員会への補助	90万円
その他	4万円



七夕まつり

Ⅳふるさとを支える産業づくり

セツブンソウ園整備費 5,116万円

(担当：産業観光課)

両神小森地内のセツブンソウ園には全国でも珍しい自生の群生地として毎年多くの観光客においていただいていることから、今年度はその周辺環境の更なる充実を図るため駐車場等の整備を行います。

主な経費

工事費	5,000万円
用地借上・補償費	116万円

財 源

埼玉県の補助金	2,500万円
小鹿野町のお金	2,616万円
(うち借金〔町債〕)	2,500万円

資源活用センター運営費 2,270万円

(担当：産業観光課)

地域資源を活用したそば、うどん、豆腐づくりの体験や販売等を行っている資源活用センターでは、隣接する温泉館や直売所とともに、観光農業の一躍を担っています。

主な経費

施設管理を依頼する費用	1,448万円
そば等原材料費	382万円
営業消耗品、光熱水費等	356万円
機器保守点検費等	84万円

財 源

体験収入	403万円
販売収入	1,529万円
小鹿野町のお金	338万円

両神温泉館運営費 7,779万円

(担当：産業観光課)

両神「薬師の湯」の運営経費です。月1回利用できる 町民無料カードがありますので、ご利用ください。

主な経費

施設管理を依頼する費用	3,903万円
燃料、光熱水費等	1,595万円
食材、売店原材料費	1,638万円
管理経費等	643万円

財 源

利用収入	4,500万円
売店収入	3,386万円

両神農林産物直売所運営費 933万円

(担当：産業観光課)

農産物の生産安定化と販路拡大を図ることはもとより、温泉客や登山客などのお土産コーナーとして盛況です。

主な経費

施設管理を依頼する費用	792万円
管理経費等	141万円

財 源

販売手数料	800万円
小鹿野町のお金	133万円



商品が並ぶ直売所

V 住民と行政が共に手を携えたふるさとづくり

「住民と行政が共に手を携えたふるさとづくり」につきましては、今日の厳しい財政状況下にあつて私たちの町づくりは、町民自ら考え実践することを基本に、各種行政委員の一部については公募による選任を行うなど、町民の皆さんの積極的な参加をいただく中で町づくりを進めてまいりました。

主 な 事 業	事 業 費
広報おがの発行費	530 万円
予算説明書の発行	25 万円
情報公開推進費	18 万円
総合振興計画策定事業	71 万円
行政改革推進費	7 万円
町民教育会議運営費（再掲）	61 万円
社会教育委員会費	178 万円
行政区長活動費等交付金	1,145 万円
地域集会所改修費交付金	200 万円
コミュニティ協議会補助	55 万円

今年度は「自主自立の町づくり」として、空き農地対策や特産品振興などを更に推進するため、**農業法人設立**のための調査研究費を計上いたしました。

また、今後更に厳しくなると予想される行財政環境の中にあつても「**自立しうる町づくり**」に向かつて、行財政改革を引き続き推進していくとともに、各事業の執行にあたっては、全職員が現在の状況を自ら認識し、知恵を絞り、更なる住民サービスの向上に努めてまいります。

※補足説明（財源欄のない事業は全額町のお金でまかなうことを意味します。）

情 報 公 開 推 進 費 18 万円

（担当：まちづくり課）

情報公開制度や個人情報保護制度の適正な運用を行うため、情報公開・個人情報保護審査委員会及び情報公開・個人情報保護審議会が設置されています。

主な経費

委員報酬・旅費 18 万円



役場窓口

総合振興計画策定事業 71 万円

（担当：まちづくり課）

新町の新たな町づくりの指針となる総合振興計画作成のための費用です。

主な経費

住民アンケート調査 39 万円

審議会委員報酬 30 万円

事務費（旅費等） 2 万円



小嶋野名水「毘沙門水」

行政改革推進費 7万円

(担当：まちづくり課)

現在の厳しい行財政環境の中、「自立しうる町づくり」に向けて全庁的な取り組みを行っていきます。

主な経費

推進懇話会の開催費	5万円
事務費（旅費等）	2万円

社会教育委員会費 178万円

(担当：社会教育課)

社会教育行政や生涯学習の進め方等について、町民の皆さんに参加をいただき、その推進に努めます。

主な経費

委員会の開催費(委員報酬等)	159万円
事務費（旅費等）	19万円

地域集会所改修費交付金 200万円

(担当：総務課)

コミュニティ活動の拠点となる地域集会所の改修費に対する助成を実施します。

主な経費

改修費の助成金	200万円
---------	-------



長若12区集会所

予算説明書の発行 25万円

(担当：財政課)

1年間の町の予算について説明した、町民の皆さん向けの予算書です（この本のことで）。5,000冊を印刷し、全世帯へ配布します。

主な経費

予算説明書の印刷費	25万円
-----------	------

行政区長活動費等交付金 1,145万円

(担当：総務課)

行政活動との連携や、行政区活動がスムーズに行えるよう、交付金を交付しています。交付額は均等割、世帯割などにより算定されます。

主な経費

交付金	1,087万円
行政区活動保険料	58万円

広報おがの発行費 530万円

(担当：秘書広報課)

毎月1回の「広報おがの」の発行費用です。

主な経費

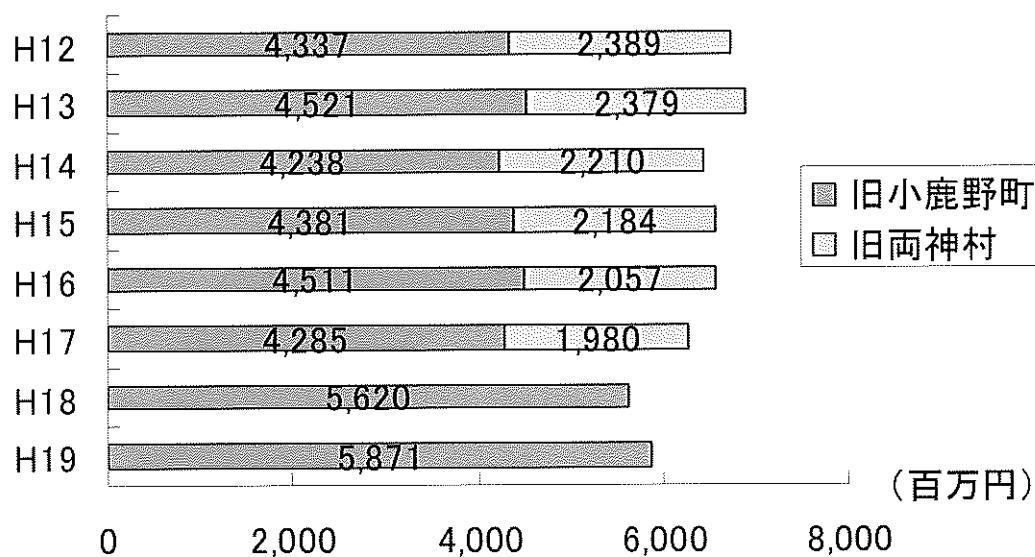
印刷費	524万円
事務費	6万円

財 源

広告掲載料	24万円
小鹿野町のお金	506万円

1 町の予算はどのように推移しているのか？

一般会計当初予算額の推移



(単位: 百万円)

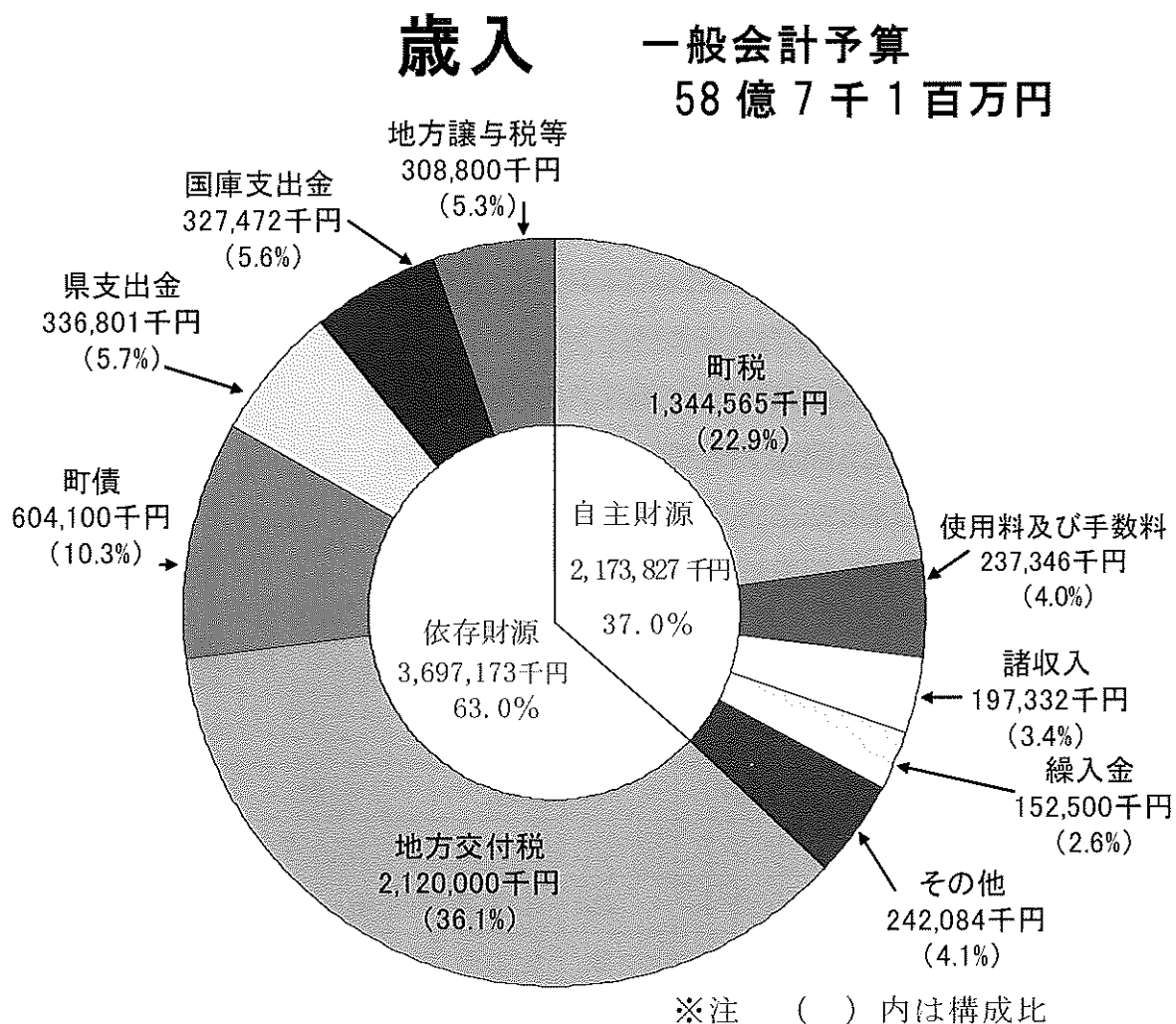
年度	旧小鹿野町	旧両神村	計	前年度比
H 1 2	4, 3 3 7	2, 3 8 9	6, 7 2 6	
H 1 3	4, 5 2 1	2, 3 7 9	6, 9 0 0	2. 6
H 1 4	4, 2 3 8	2, 2 1 0	6, 4 4 8	△ 6. 6
H 1 5	4, 3 8 1	2, 1 8 4	6, 5 6 5	1. 8
H 1 6	4, 5 1 1	2, 0 5 7	6, 5 6 8	0. 0
H 1 7	4, 2 8 5	1, 9 8 0	6, 2 6 5	△ 4. 6
新町 H 1 8	5, 6 2 0	—	5, 6 2 0	△ 1 0. 3
新町 H 1 9	5, 8 7 1	—	5, 8 7 1	4. 5

● ワンポイント ●

※予算額は、その年に建設事業(施設等の建設・整備)等をどれだけ行うかにより大きく増減します。

大規模な道路施設等の建設事業がある年には増え、終了した時に減りますので、一概にその評価はできませんが、一つの目安としては基金(貯金)からの繰入れ(取り崩し)が 0 での予算額になれば当該年度の収入で賄われている予算となります。(19 年度予算が増えた主な理由は、移動通信用鉄塔の整備や町営住宅の建設などの大きな事業が行われるためです。)

2 平成19年度の収入の内容はどのようなになっているのか？



●用語解説●

地方交付税⇒行政サービスの一定水準の確保と自治体間の不均衡を調整するため国から交付されるもので、普通交付税と災害など特別な事情により配分される特別交付税があります。

町債⇒町の借金で、将来にわたって返済が必要です。

繰入金⇒預金（基金）からの収入（取り崩し）です。

自主財源⇒町が自主的に収入できるお金です。

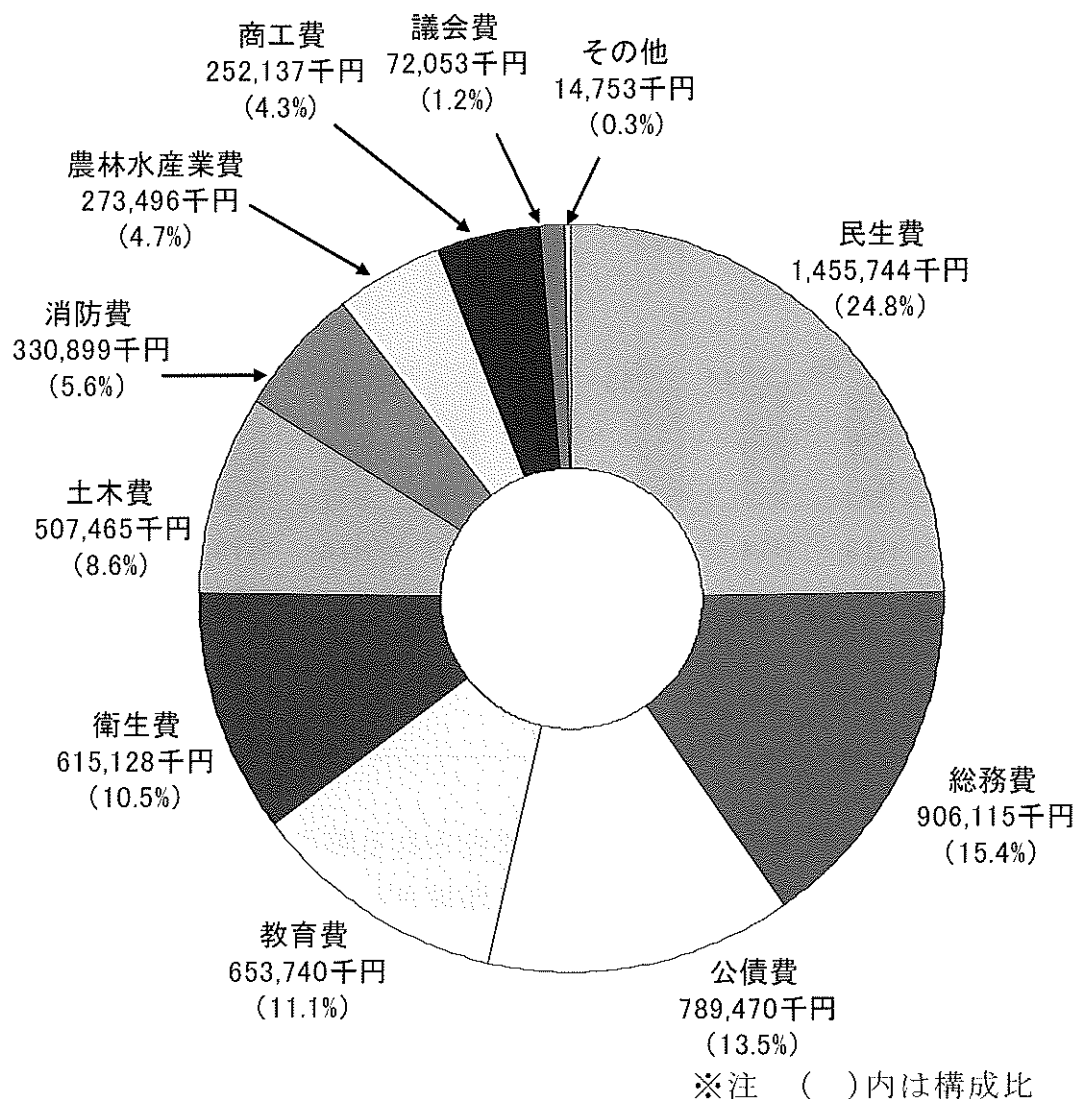
依存財源⇒国や埼玉県が決めて交付される収入です。

●ワンポイント●

国や県の動向に左右されない財政運営（やりくり）を行うには自主財源が多いほうが好ましいとされています。

3 平成19年度の予算配分はどのようなになっているのか？

歳出 一般会計予算 58億7千1百万円



●用語解説●

公債費⇒町の借金を返すためのお金です。

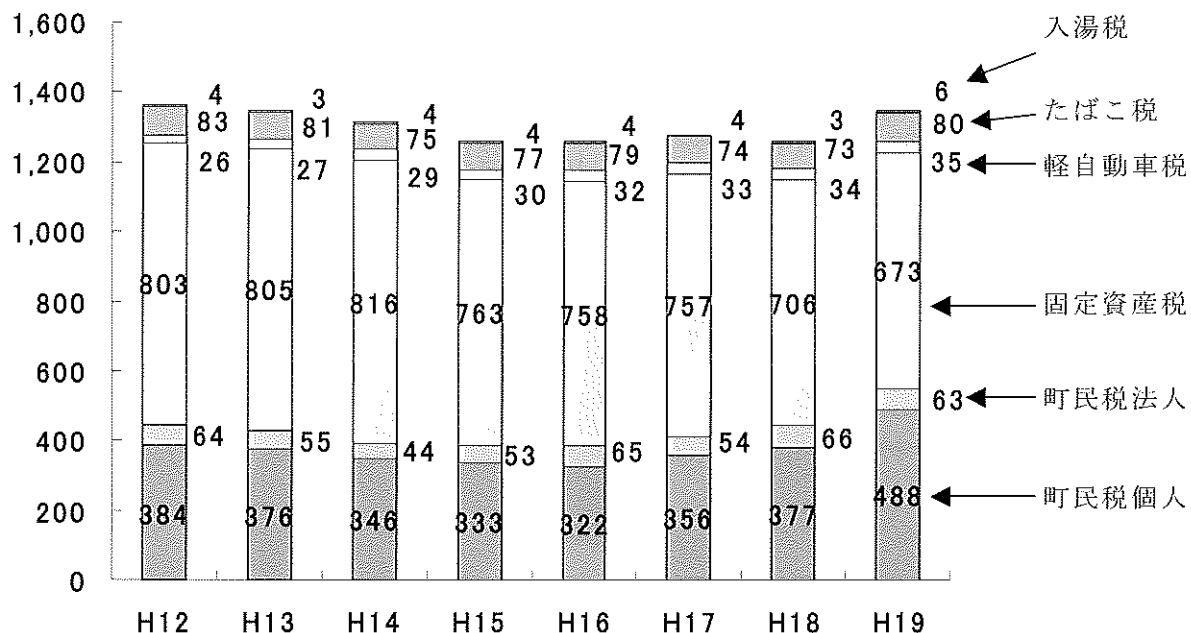
●ワンポイント●

過去において道路や各種施設の建設時に、その資金として借り入れたお金の返済金が公債費ですが、今後は一層住民の皆さんにとっての費用対効果の視点に立っての借り入れを行い、その削減に努力していくことが健全な町の財政(家計)を維持していくためにも必要となってきています。

4 町税の収入はどうなっているのか？

■町民税個人 □町民税法人 □固定資産税 □軽自動車税 ■たばこ税 ■入湯税等

(百万円)



※注 H18・H19 は予算額

●用語解説●

町民税（個人）⇒個人の所得に対して課税される町の税金です。

町民税（法人）⇒会社等の所得に対して課税される町の税金です。

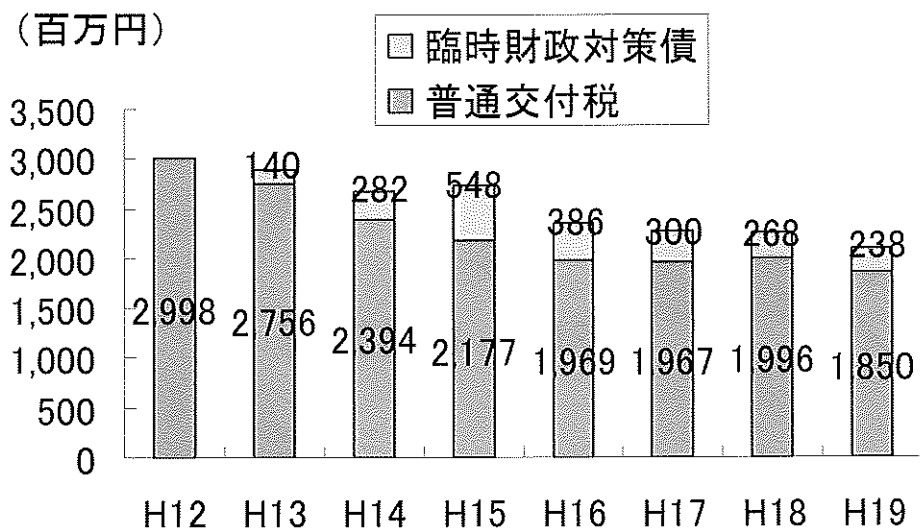
●ワンポイント●

町税収入は平成12年度まで伸びてきましたが、景気が落ち込んでいることなどから、その後横ばいないし減少傾向にあります。平成19年度は税制改正が行われた結果、町民税が1億1千万円程増える予定となりましたが、今まで別の形で国から交付されていた譲与金と同額程度減額されますので、町としての収入額はほぼ同額となります。

自立しうる町づくりのためには今後も町民所得を増やし、町民税等の税収増につながる施策の展開が求められています。

5 町の地方交付税はどのように推移しているのか？

普通交付税等の推移



※注 H19は予算額

●用語解説●

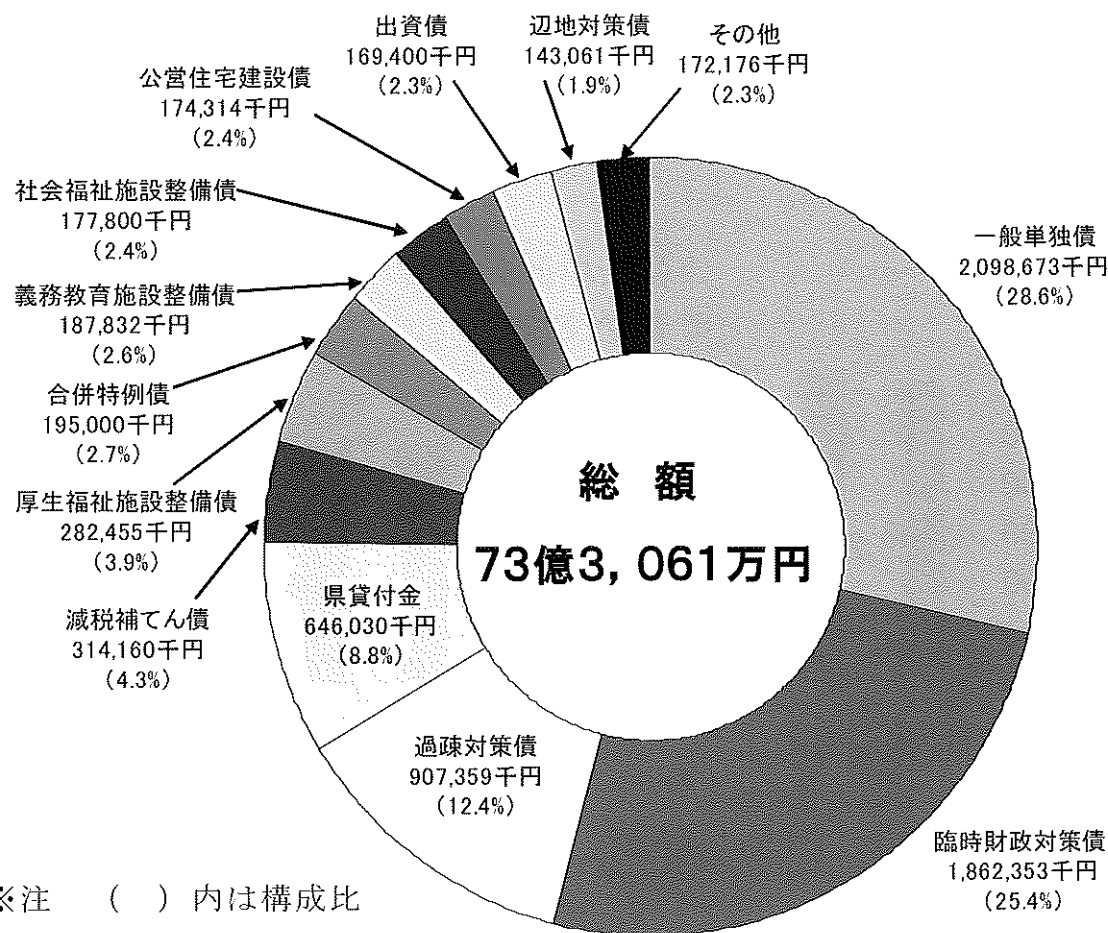
臨時財政対策債⇒交付税の一部として町が借金により調達するものですが、この返済分は地方交付税で全額交付されるので、地方交付税と同様に考えます。平成13年度から導入されています。

●ワンポイント●

普通交付税等は依存財源の中心となる収入ですが、国の財政状況の悪化により最近では毎年減額されてきています。このことから歳入（収入）に見合った歳出（支出）が必要となりますので支出については、よりその内容を精査し、住民の皆さんに理解していただける内容にしていくよう努めてまいります。

6 町の借金（町債）はどのくらいあるのか？

町債残高(H18年度末見込額)



※注 () 内は構成比

●町債の返済額の内、地方交付税分として交付される主な町債及び交付率●

臨時財政対策債	100%	合併特例債	70%
減税補てん債	100%	出資債	50%
辺地対策債	80%	義務教育施設整備債	20～70%
過疎対策債	70%	一般単独債	0～50%

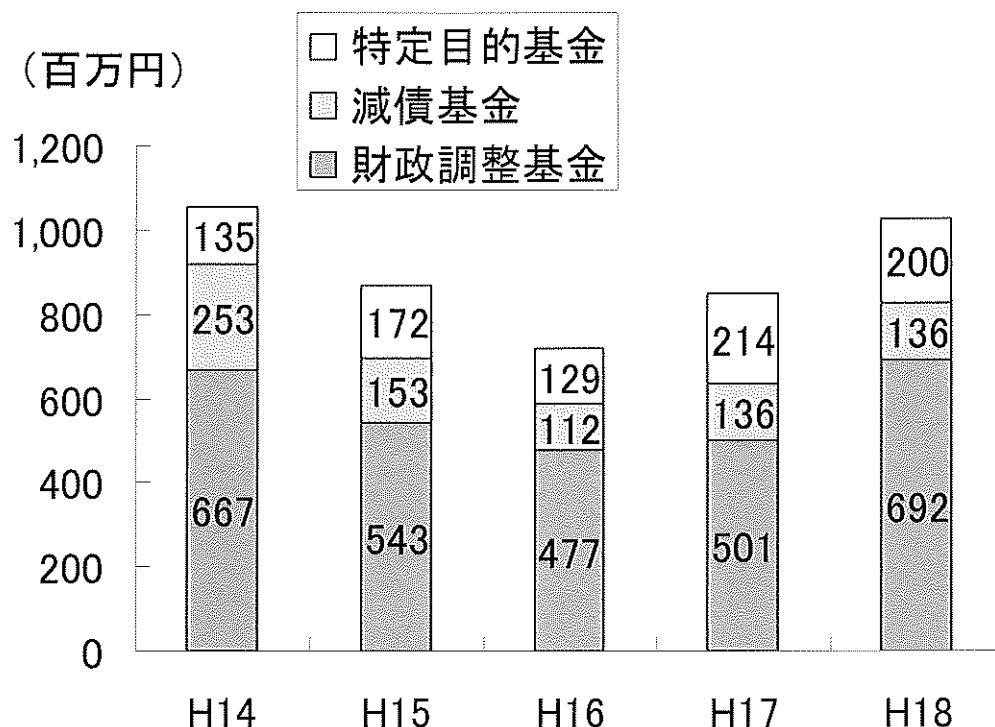
※一般単独債・義務教育施設整備債は施設の内容により変わります。

●ワンポイント●

地方交付税分として交付される率はそれぞれの事業によって違います。また、この交付される率は最近見直されており、特別なものを除き減少してきていますが、今後とも交付税で措置される有利な町債の活用を検討してまいります。

7 町の預金（基金）はどのくらいあるのか？

基金の残高



※注 H18 は見込額

●用語解説●

財政調整基金→経済情勢の著しい変動などによる、財源不足を補うなどのために使用する基金です。

減債基金→町債（町の借金）の返済のために使用する基金です。

特定目的基金→特定の事業に使用する基金です。

●ワンポイント●

基金は家計で言えば貯金にあたるものです。いざというときに備え、貯えておくことが必要なものですが、平成18年度は総額で前年度を上回る額を確保できる見通しとなりました。